

## 2020年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月14日

上場会社名 ナレッジスイート株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3999 URL https://ksj.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 雄一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員コーポレートビジネスユニット長 (氏名) 柳沢 貴志 TEL 03-5405-8120  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第3四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	1,588	△1.5	96	12.4	91	16.2	96	86.8	96	86.8	103	102.0
2019年9月期第3四半期	1,612	—	85	—	78	—	51	—	51	—	51	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	18.94	18.76
2019年9月期第3四半期	10.35	10.07

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,418	1,094	1,094	45.3
2019年9月期	2,338	980	980	41.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,116	—	△17	—	△23	—	△19	—	△19	—	△3.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 2020年9月期の連結業績予想につきましては、当社が2020年9月期より国際財務報告基準（以下、「IFRS」という。）を任意適用したため、日本基準を適用していた2019年9月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社（社名）-、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期3Q	5,105,200株	2019年9月期	5,036,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期3Q	143株	2019年9月期	143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期3Q	5,073,913株	2019年9月期3Q	4,970,092株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（IFRSの適用）

当社は、2020年9月期第1四半期連結会計期間から国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。また、前年同四半期及び前連結会計年度の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。連結財務数値に係るIFRSと日本基準との差異につきましては、P.13「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（初度適用）」をご参照ください。

（四半期決算捕捉説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は2020年8月14日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	13
(初度適用) .....	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、第1四半期連結会計期間から、従来の日本基準に替えて国際会計基準（以下、「IFRS」という。）を適用しており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度の数値もIFRSに組み替えて比較分析を行っております。

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の低迷により先行き不透明な状況となっております。

当社グループのクラウドソリューション事業及びシステムエンジニアリング事業を展開する国内情報サービス市場は、働き方改革関連法案の施行に伴う「働き方改革」、感染症抑止に伴う企業の「テレワーク」機運の高まり、及び「デジタルトランスフォーメーション（DX）」への急速な移行など、企業の情報システム需要、中堅・中小企業におけるテレワーク環境の広がりにより、サブスクリプションからなるクラウドサービス需要が拡大しております。

このような状況下で、当社グループは「Change The Business～中小企業のビジネスを変え、日本経済の活性化に貢献する～」の経営理念を基に、「脳力をフル活用できる世界へ」とする企業ビジョンを目指し、テレワークをはじめとした働き方改革に必要不可欠である、DXへの取り組みを強化するべく、成長加速に向けた投資の更なる強化を推進してまいりました。

具体的には、中堅・中小企業のDXを推進するSFA/CRMクラウドサービス「Knowledge Suite（ナレッジスイート）」を中心としたサブスクリプションビジネスの拡大のため、将来の売上拡大を優先した営業増員、及び感染症対策としての商談オンライン化を積極的に推進する他、企業のDX化を加速する次バージョンのクラウドプラットフォーム開発を進めてまいりました。

さらに、導入コンサルティング、IT人材サービスの提供を通じて、企業のテレワーク導入早期化、DXの推進を積極的に提案してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上収益は1,588,599千円（前年同期比1.5%減）、営業利益は96,327千円（前年同期比12.4%増）、税引前四半期利益は91,095千円（前年同期比16.2%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は96,113千円（前年同期比86.8%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### ①クラウドソリューション事業

##### （クラウドサービス）

当サービスにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による展示会及びセミナーの延期または中止により商談機会の減少が発生しましたが、感染症対策をきっかけとした中堅・中小企業のテレワーク化及びDX化のニーズの高まりにより、オンラインによる継続的なリード（見込み客）の獲得を維持し、商談のオンライン化を推進したため、当四半期における月間受注額が過去最大（6月度）を記録するなど、サブスクリプション契約の受注積み上がり好調であったことから、当第3四半期連結累計期間における売上収益は494,924千円（前年同期比10.3%増）となりました。

##### （ソリューションサービス）

当サービスにつきましては、第2四半期に続き、クラウドサービスの契約が増加したことで、導入コンサルティングサービスの受注は堅調に推移し、感染症対策に伴う対面中心からオンラインへの業務変更早期化が功を奏し増収となりました。一方、WEBマーケティング支援及びクラウドインテグレーションサービスは、感染症拡大による顧客企業の広告宣伝予算縮小の影響により減収となりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は147,850千円（前年同期比18.4%減）となりました。

これらの結果、売上収益は642,774千円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益は181,318千円（前年同期比8.9%減）となりました。

## ②システムエンジニアリング事業

システムエンジニアリング事業においては、慢性的なIT人材不足を背景に、稼働エンジニアは継続しつつも、IT人材需要が高い派遣先企業において、感染症拡大の影響による年度開始に伴う計画見直しが発生したことで、派遣先プロジェクトが一部減少し、今後の回復の兆しはありつつも減収となりました。

これらの結果、売上収益は945,824千円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は209,560千円（前年同期比25.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,162,413千円となり、前連結会計年度末に比べ155,164千円減少しました。これは主に、現金及び現金同等物の減少146,385千円、営業債権及びその他の債権の減少35,125千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動資産は1,256,472千円となり、前連結会計年度末に比べ235,286千円増加しました。これは主に、無形資産の増加125,592千円、使用権資産の増加74,372千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は2,418,886千円となり、前連結会計年度末に比べ80,121千円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は923,501千円となり、前連結会計年度末に比べ396,432千円増加しました。これは主に、有利子負債の増加411,900千円、営業債務及びその他の債務の減少67,802千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の非流動負債は400,738千円となり、前連結会計年度末に比べ430,743千円減少しました。これは主に、有利子負債の減少451,844千円、リース負債の増加19,511千円によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は1,324,239千円となり、前連結会計年度末に比べ34,311千円減少しました。

## (資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本は1,094,646千円となり、前連結会計年度末に比べ114,433千円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加96,113千円によるものであります。

これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント増加し、45.3%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期通期の連結業績予想につきましては、2020年8月14日に公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症による当社の販売・開発への影響は、見通しが不透明な状況であり、今後の影響について当社として正確な予想を行うことは非常に困難であります。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:千円)

	移行日 (2018年10月1日)	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産</b>			
流動資産			
現金及び現金同等物	935,707	993,599	847,214
営業債権及びその他の債権	139,067	292,666	257,541
棚卸資産	610	408	4,347
未収法人所得税等	-	-	18,770
その他の金融資産	4,782	-	-
その他の流動資産	33,301	30,903	34,540
流動資産合計	1,113,469	1,317,577	1,162,413
非流動資産			
有形固定資産	47,063	50,212	54,160
使用権資産	275,719	219,808	294,180
のれん	129,019	328,206	328,206
無形資産	129,414	231,314	356,906
その他の金融資産	58,052	184,612	215,739
繰延税金資産	29,290	7,032	7,279
非流動資産合計	668,559	1,021,186	1,256,472
資産合計	1,782,029	2,338,764	2,418,886

(単位:千円)

	移行日 (2018年10月1日)	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債及び資本</b>			
<b>負債</b>			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	42,026	162,670	94,867
契約負債	15,997	12,508	14,297
有利子負債	68,200	186,592	598,492
リース負債	57,152	56,998	115,601
未払法人所得税等	1,260	1,721	-
その他の流動負債	61,142	106,579	100,242
流動負債合計	245,779	527,069	923,501
非流動負債			
有利子負債	431,250	637,666	185,822
リース負債	204,291	148,679	168,191
引当金	23,456	23,498	23,530
繰延税金負債	-	21,637	23,194
その他の非流動負債	283	-	-
非流動負債合計	659,281	831,482	400,738
負債合計	905,061	1,358,551	1,324,239
<b>資本</b>			
資本金	650,944	664,174	681,106
資本剰余金	639,328	652,558	646,293
利益剰余金	△413,218	△335,888	△239,774
自己株式	△85	△192	△192
その他の資本の構成要素	-	△438	7,213
親会社の所有者に帰属する持分合計	876,967	980,213	1,094,646
資本合計	876,967	980,213	1,094,646
負債及び資本合計	1,782,029	2,338,764	2,418,886

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
売上収益	1,612,898	1,588,599
売上原価	1,010,657	939,546
売上総利益	602,241	649,052
販売費及び一般管理費	519,890	606,162
その他の収益	8,677	53,479
その他の費用	5,337	42
営業利益	85,690	96,327
金融収益	271	404
金融費用	7,536	5,637
税引前四半期利益	78,425	91,095
法人所得税費用	26,982	△5,018
四半期利益	51,442	96,113
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	51,442	96,113
四半期利益	51,442	96,113
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	10.35	18.94
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	10.07	18.76



(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期利益	51,442	96,113
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資 本性金融商品	△78	7,651
その他の包括利益合計	△78	7,651
四半期包括利益	51,364	103,765
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	51,364	103,765
四半期包括利益	51,364	103,765

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2018年10月1日残高	650,944	639,328	△413,218	△85	—	876,967	876,967
四半期利益	—	—	51,442	—	—	51,442	51,442
その他の包括利益	—	—	—	—	△78	△78	△78
四半期包括利益合計	—	—	51,442	—	△78	51,364	51,364
新株の発行	11,595	11,595	—	—	—	23,190	23,190
自己株式の取得	—	—	—	△107	—	△107	△107
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	11,595	11,595	—	△107	—	23,082	23,082
2019年6月30日残高	662,539	650,923	△361,776	△192	△78	951,415	951,415

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素		
2019年10月1日残高	664,174	652,558	△335,888	△192	△438	980,213	980,213
四半期利益	—	—	96,113	—	—	96,113	96,113
その他の包括利益	—	—	—	—	7,651	7,651	7,651
四半期包括利益合計	—	—	96,113	—	7,651	103,765	103,765
新株の発行	4,250	4,250	—	—	—	8,500	8,500
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	12,682	△10,514	—	—	—	2,168	2,168
所有者との取引額等合計	16,932	△6,264	—	—	—	10,668	10,668
2020年6月30日残高	681,106	646,293	△239,774	△192	7,213	1,094,646	1,094,646

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	78,425	91,095
減価償却費及び償却費	87,905	95,174
金融収益	△271	△404
金融費用	7,536	5,637
投資有価証券売却益	—	△42,000
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,853	△3,938
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	26,388	35,125
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△37,565	△67,802
契約負債の増減額(△は減少)	△703	1,789
引当金の増減額(△は減少)	△3,657	—
その他	45,835	△6,003
小計	210,747	108,671
利息の受取額	271	4
配当金の受取額	—	400
利息の支払額	△6,755	△5,550
法人所得税の支払額	△8,041	△22,235
法人所得税の還付額	—	3,136
役員退職慰労金の支払額	△130,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	66,220	84,426
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,603	△11,096
無形資産の取得による支出	△57,691	△168,259
投資有価証券の取得による支出	△46,298	△10,000
投資有価証券の売却による収入	—	60,000
保険積立金の解約による収入	230,458	—
子会社の取得による支出	△160,505	—
その他	16,775	△28,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,864	△157,752
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額	—	100,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△310,697	△139,944
リース負債の返済による支出	△50,106	△41,615
株式の発行による収入	23,190	8,500
自己株式の取得による支出	△107	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	162,278	△73,059
現金及び現金同等物の増減額	206,634	△146,385
現金及び現金同等物の期首残高	935,707	993,599
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,142,342	847,214

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

（1）報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっている事業セグメントを基礎に決定しております。

当社グループは、経営組織の形態、製品・サービスの特性及び販売市場の類似性に基づき、複数の事業セグメントを集約した上で、「クラウドソリューション事業」及び「システムエンジニアリング事業」の2つを報告セグメントとしております。

「クラウドソリューション事業」は、営業活動の可視化、営業活動の自動化を目指す法人向けマルチテナント型クラウドサービスとして開発した統合型営業・マーケティング支援クラウドサービスの開発・販売、また、中堅・中小企業の営業・マーケティング課題を解決支援する導入コンサルティング、クラウドインテグレーション、WEBマーケティング支援からなるソリューションサービスの2つのサービスを軸に事業を展開しております。

「システムエンジニアリング事業」は、当社が長年培ってきたクラウドインテグレーションノウハウをベースにした先端IT技術者の育成、及び市場ニーズに即した先端技術力、研究開発体制を共有していくことで、今まで以上にニーズの高いシステムエンジニアリングサービスを展開しております。

## (2) 報告セグメントの収益及び業績に関する情報

当社の報告セグメントによる収益及び業績は、以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	クラウド ソリューション 事業	システム エンジニア リング事業	合計	調整額	要約四半 期連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	629,749	983,148	1,612,898	-	1,612,898
セグメント間の売上収益	2,574	-	2,574	△2,574	-
合計	632,324	983,148	1,615,473	△2,574	1,612,898
セグメント利益	199,033	166,959	365,992	△280,302	85,690
金融収益					271
金融費用					7,536
税引前四半期利益					78,425

当第3四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	クラウド ソリューション 事業	システム エンジニア リング事業	合計	調整額	要約四半 期連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	642,774	945,824	1,588,599	-	1,588,599
セグメント間の売上収益	4,087	18,470	22,557	△22,557	-
合計	646,862	964,294	1,611,157	△22,557	1,588,599
セグメント利益	181,318	209,560	390,879	△294,551	96,327
金融収益					404
金融費用					5,637
税引前四半期利益					91,095

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

前第3四半期連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:千円)

	クラウド ソリューション 事業	システム エンジニア リング事業	合計	調整額	要約四半 期連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	183,474	327,684	511,158	-	511,158
セグメント間の売上収益	1,235	-	1,235	△1,235	-
合計	184,709	327,684	512,394	△1,235	511,158
セグメント利益	33,627	51,774	85,401	△77,918	7,483
金融収益					54
金融費用					2,115
税引前四半期利益					5,422

当第3四半期連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:千円)

	クラウド ソリューション 事業	システム エンジニア リング事業	合計	調整額	要約四半 期連結損益計算書 計上額
売上収益					
外部顧客からの売上収益	213,532	278,035	491,567	-	491,567
セグメント間の売上収益	285	15,724	16,009	△16,009	-
合計	213,817	293,759	507,576	△16,009	491,567
セグメント利益	45,737	66,394	112,131	△117,928	△5,796
金融収益					-
金融費用					1,885
税引前四半期損失					△7,681

(注) 1. セグメント間の取引は市場実勢価格に基づいております。

2. セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用によるものであります。

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。

## （初度適用）

当社グループは、当第1四半期連結会計期間からIFRSに準拠した要約四半期連結財務諸表を開示しております。我が国において一般に公正妥当と認められる会計基準（以下、日本基準）に準拠して作成された直近の連結財務諸表は2019年9月30日に終了する連結会計年度に関するものであり、IFRS移行日は2018年10月1日です。

## （1）遡及適用に対する免除規定

IFRS第1号は、IFRSを初めて適用する企業に対して、原則として遡及的にIFRSを適用することを求めています。ただし、一部について例外を認めており、当社グループが採用した免除規定は次のとおりです。

## ① 企業結合

当社グループは、移行日より前に行われた企業結合に対してIFRS第3号「企業結合」を遡及適用しないことを選択しております。この結果、移行日より前に行われた企業結合は、日本基準により会計処理しており、修正再表示しておりません。

## ② リース

契約にリースが含まれているか否かを移行日時点で存在する事象及び状況に基づき判定しております。

また、移行日前にファイナンス・リースに分類していた資産を除き、リース負債を移行日時点で測定し、同額を使用権資産として計上しております。原資産が少額もしくは短期リースに該当する場合の認識の免除について、移行日時点の状況で判断しております。

## ③ 移行日前に認識した金融商品の指定

当社グループは、IFRS第9号における金融商品の分類について、移行日時点で存在する事実及び状況に基づいて判断しております。

## ④ 株式報酬

当社グループは、移行日より前に権利確定した株式報酬に対しては、IFRS第2号を「株式に基づく報酬」遡及適用しないことを選択しております。

## （2）強制的な例外規定

IFRS第1号は、「見積り」、「金融資産及び金融負債の認識の中止」等について、IFRSの遡及適用を禁止しております。当社グループは、これらの項目について移行日より将来に向かって適用しております。

## (3) 調整表

日本基準からIFRSへの移行が、当社グループの連結財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に及ぼす影響は、次のとおりです。なお、調整表の「表示組替」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼさない項目を、「認識及び測定の違い」には利益剰余金及び包括利益に影響を及ぼす項目を含めて表示しております。

## ① 移行日(2018年10月1日)の資本に対する調整

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	935,707	—	—	935,707		現金及び現金同等物
売掛金	139,655	△588	—	139,067		営業債権及びその他の債権
仕掛品	610	—	—	610		棚卸資産
前払費用	25,922	△25,922	—	—		
その他	16,180	△16,180	—	—		
貸倒引当金	△588	588	—	—		
	—	4,782	—	4,782		その他の金融資産
	—	37,320	△4,019	33,301	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,117,488	—	△4,019	1,113,469		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	104,105	△38,249	△18,792	47,063	b	有形固定資産
	—	38,249	237,470	275,719	b	使用権資産
	—	238,996	△109,977	129,019	a	のれん
無形固定資産	353,383	△238,996	15,028	129,414	f	無形資産
投資その他の資産	96,792	△23,712	△15,028	58,052	f	その他の金融資産
	—	23,712	5,578	29,290	g	繰延税金資産
固定資産合計	554,281	—	114,278	668,559		非流動資産合計
資産合計	1,671,770	—	110,259	1,782,029		資産合計



(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び測定 の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
負債の部						負債及び資本
流動負債						負債
買掛金	17,008	25,018	—	42,026		流動負債
	—	15,997	—	15,997		営業債務及びその他の債務
1年以内返済予定の長期借入金	68,200	—	—	68,200		契約負債
リース債務	8,264	—	48,888	57,152	b	有利子負債
未払金	25,018	△25,018	—	—		リース負債
未払費用	13,794	△13,794	—	—		
未払法人税等	9,375	—	△8,115	1,260	g	未払法人所得税等
前受金	15,997	△15,997	—	—		
賞与引当金	19,165	△19,165	—	—		
その他	10,874	△10,874	—	—		
	—	43,834	17,307	61,142	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	187,699	—	58,080	245,779		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	431,250	—	—	431,250		有利子負債
リース債務	33,909	—	170,382	204,291	b	リース負債
資産除去債務	23,456	—	—	23,456		引当金
その他	283	—	—	283		その他の非流動負債
固定負債合計	488,899	—	170,382	659,281		非流動負債合計
負債合計	676,598	—	228,462	905,061		負債合計
純資産の部						資本
資本金	650,944	—	—	650,944		資本金
資本剰余金	641,044	—	△1,715	639,328	e	資本剰余金
利益剰余金	△296,731	—	△116,487	△413,218	a, b, c, e, g	利益剰余金
自己株式	△85	—	—	△85		自己株式
	995,171	—	△118,203	876,967		親会社の所有者に帰属する持分合計
純資産合計	995,171	—	△118,203	876,967		資本合計
負債純資産合計	1,671,770	—	110,259	1,782,029		負債及び資本合計

## ② 前第3四半期連結会計期間(2019年6月30日)の資本に対する調整

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	1,142,342	—	—	1,142,342		現金及び現金同等物
売掛金	260,061	3,404	—	263,466		営業債権及びその他の 債権
仕掛品	1,756	—	—	1,756		棚卸資産
前払費用	19,990	△19,990	—	—		
その他	11,793	△11,793	—	—		
貸倒引当金	△7,638	7,638	—	—		
	—	20,741	△4,041	16,699	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,428,307	—	△4,041	1,424,265		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	93,558	△53,397	5,606	45,766	b	有形固定資産
	—	53,397	182,603	236,001	b	使用権資産
	—	389,783	△61,576	328,206	a	のれん
無形固定資産	595,301	△375,520	764	220,546	f	無形資産
投資その他の資産	147,010	△41,976	—	105,033	f	その他の金融資産
	—	27,713	5,578	33,291	g	繰延税金資産
固定資産合計	835,870	—	132,975	968,846		非流動資産合計
資産合計	2,264,178	—	128,933	2,393,111		資産合計

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
						負債及び資本
負債の部						負債
流動負債						流動負債
買掛金	113,444	32,264	—	145,708		営業債務及びその他の 債務
	—	16,229	—	16,229		契約負債
1年以内返済予定の長期借入金	186,592	—	—	186,592		有利子負債
リース債務	7,198	—	50,194	57,393	b	リース負債
未払金	32,264	△32,264	—	—		
未払費用	19,811	△19,811	—	—		
未払法人税等	34,122	—	△4,427	29,695	g	未払法人所得税等
前受金	16,229	△16,229	—	—		
賞与引当金	14,441	△14,441	—	—		
その他	44,801	34,252	24,920	103,974	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	468,905	—	70,688	539,593		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	684,314	—	—	684,314		有利子負債
リース債務	28,500	—	135,970	164,471	b	リース負債
資産除去債務	23,488	—	—	23,488		引当金
退職給付に係る負債	11,052	△11,052	—	—		
繰延税金負債	18,777	—	—	18,777		繰延税金負債
その他	—	11,052	—	11,052		その他の非流動負債
固定負債合計	766,132	—	135,970	902,103		非流動負債合計
負債合計	1,235,037	—	206,658	1,441,696		負債合計
純資産の部						資本
資本金	662,539	—	—	662,539		資本金
資本剰余金	652,639	—	△1,715	650,923	e	資本剰余金
利益剰余金	△285,766	—	△76,009	△361,776	a, b, c, e, f	利益剰余金
自己株式	△192	—	—	△192		自己株式
その他の包括利益累計額	△78	—	—	△78		その他の資本の構成要素
	1,029,140	—	△77,725	951,415		親会社の所有者に帰属 する持分合計
純資産合計	1,029,140	—	△77,725	951,415		資本合計
負債純資産合計	2,264,178	—	128,933	2,393,111		負債及び資本合計

## ③ 前連結会計年度(2019年9月30日)の資本に対する調整

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
資産の部						資産
流動資産						流動資産
現金及び預金	993,599	—	—	993,599		現金及び現金同等物
売掛金	272,853	19,812	—	292,666		営業債権及びその他の 債権
仕掛品	408	—	—	408		棚卸資産
前払費用	32,525	△32,525	—	—		
その他	24,825	△24,825	—	—		
貸倒引当金	△2,585	2,585	—	—		
	—	34,952	△4,049	30,903	b	その他の流動資産
流動資産合計	1,321,626	—	△4,049	1,317,577		流動資産合計
固定資産						非流動資産
有形固定資産	95,956	△51,248	5,504	50,212	b	有形固定資産
	—	51,248	168,559	219,808	b	使用権資産
	—	366,974	△38,767	328,206	a	のれん
無形固定資産	583,260	△366,974	15,028	231,314	f	無形資産
投資その他の資産	200,254	△1,362	△14,280	184,612	f	その他の金融資産
	—	1,362	5,670	7,032	g	繰延税金資産
固定資産合計	879,472	—	141,714	1,021,186		非流動資産合計
資産合計	2,201,099	—	137,664	2,338,764		資産合計

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
						負債及び資本
負債の部						負債
流動負債						流動負債
買掛金	126,672	35,997	—	162,670		営業債務及びその他の債務
	—	12,508	—	12,508		契約負債
1年以内返済予定の長期借入金	186,592	—	—	186,592		有利子負債
リース債務	7,225	—	49,772	56,998	b	リース負債
未払金	36,972	△36,972	—	—		
未払費用	14,834	△14,834	—	—		
未払法人税等	9,824	—	△8,103	1,721	g	未払法人所得税等
前受金	12,508	△12,508	—	—		
賞与引当金	31,948	△31,948	—	—		
その他	28,782	47,757	30,039	106,579	b, c, g	その他の流動負債
流動負債合計	455,360	—	71,709	527,069		流動負債合計
固定負債						非流動負債
長期借入金	637,666	—	—	637,666		有利子負債
リース債務	26,684	—	121,995	148,679	b	リース負債
資産除去債務	23,498	—	—	23,498		引当金
繰延税金負債	18,269	—	3,368	21,637		繰延税金負債
固定負債合計	706,118	—	125,363	831,482		非流動負債合計
負債合計	1,161,479	—	197,072	1,358,551		負債合計
純資産の部						資本
資本金	664,174	—	—	664,174		資本金
資本剰余金	654,274	—	△1,715	652,558	e	資本剰余金
利益剰余金	△278,196	—	△57,691	△335,888	a, b, c, e, f	利益剰余金
自己株式	△192	—	—	△192		自己株式
その他の包括利益累計額	△438	—	—	△438		その他の資本の構成要素
	1,039,620	—	△59,407	980,213		親会社の所有者に帰属する持分合計
純資産合計	1,039,620	—	△59,407	980,213		資本合計
負債純資産合計	2,201,099	—	137,664	2,338,764		負債及び資本合計

## ④ 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)の包括利益に対する調整

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定 の差異	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	1,612,898	—	—	1,612,898		売上収益
売上原価	1,010,657	—	—	1,010,657		売上原価
売上総利益	602,241	—	—	602,241		売上総利益
販売費及び一般管理費	558,249	—	△38,359	519,890	a, b, c, g	販売費及び一般管理費
	—	5,221	3,455	8,677	d	その他の収益
	—	2,669	2,668	5,337	d, f	その他の費用
営業利益	43,991	2,552	39,146	85,690		営業利益
営業外収益	5,492	△5,492	—	—		
営業外費用	9,054	△9,054	—	—		
	—	271	—	271		金融収益
	—	6,385	1,150	7,536	b	金融費用
税金等調整前四半期純利益	40,428	—	37,996	78,425		税引前四半期利益
法人税等合計	29,441	—	△2,459	26,982	g	法人所得税費用
四半期純利益	10,986	—	40,455	51,442		四半期利益
その他の包括利益						その他の包括利益 純損益に振り替えられる ことのない項目
その他有価証券評価差額 金	△78	—	—	△78		その他の包括利益を通 じて公正価値で測定す る資本性金融商品
その他の包括利益合計	△78	—	—	△78		その他の包括利益合計
四半期包括利益	10,908	—	40,455	51,364		四半期包括利益

## ⑤ 前連結会計年度(自2018年10月1日 至2019年9月30日)の包括利益に対する調整

(単位:千円)

日本基準表示科目	日本基準	表示組替	認識及び 測定の違い	IFRS	注記	IFRS表示科目
売上高	2,159,940	—	—	2,159,940		売上収益
売上原価	1,362,594	—	—	1,362,594		売上原価
売上総利益	797,345	—	—	797,345		売上総利益
販売費及び一般管理費	731,014	—	△49,062	681,951	a, b, c, g	販売費及び一般管理費
	—	5,470	13,455	18,926	a, d	その他の収益
	—	11,273	2,708	13,981	d, f	その他の費用
営業利益	66,331	△5,802	59,810	120,338		営業利益
営業外収益	5,581	△5,581	—	—		
営業外費用	10,744	△10,744	—	—		
特別損失	8,614	△8,614	—	—		
	—	110	—	110		金融収益
	—	8,085	1,488	9,574	b	金融費用
税金等調整前当期純利益	52,553	—	58,321	110,874		税引前当期利益
法人税等合計	34,018	—	△451	33,566	g	法人所得税費用
当期純利益	18,534	—	58,773	77,308		当期利益
その他の包括利益						その他の包括利益
						純損益に振り替えられる ことのない項目
その他有価証券評価差額 金	△438	—	—	△438		その他の包括利益を通 じて公正価値で測定す る資本性金融商品
その他の包括利益合計	△438	—	—	△438		その他の包括利益合計
包括利益	18,096	—	58,773	76,870		当期包括利益

## ⑥ 調整に関する注記

主に以下の調整及び関連する税効果の計上を行っております。

## a のれん

日本基準ではのれんを一定期間にわたり償却しておりましたが、IFRSでは償却を行わないため、日本基準で移行日以降に計上したのれん償却額を戻し入れております。

日本基準ではのれんの修正としていた条件付対価の一部について、IFRSでは収益として計上していません。

移行日時点でIFRSに基づきのれんの回収可能性を評価した結果、新たに減損損失を計上してあります。

## b リース

日本基準では賃貸借処理していたリース取引の一部について、IFRSでは使用権資産及びリース負債を計上してあります。

## c 有給休暇

日本基準では認識していなかった未消化の有給休暇について、IFRSでは負債を計上してあります。

## d 総額表示

日本基準では営業外収益に純額で表示していた項目の一部について、IFRSではその他の収益及びその他の費用に総額で表示してあります。

## e 資本取引

日本基準では費用としていた資本取引の付随コストについて、IFRSでは資本から控除してあります。

## f 無形資産

日本基準では金融商品としていた資産の一部について、IFRSでは無形資産として表示してあります。

## g 法人所得税

日本基準では法人税、住民税及び事業税に表示していた項目の一部について、IFRSでは販売費及び一般管理費として表示してあります。また、日本基準では未払法人税等に表示していた項目の一部について、IFRSではその他の流動負債として表示してあります。

## h 表示組替

IFRSの規定に準拠するために主に以下の表示組替を行っております。

- ・日本基準において、「営業外収益」、「営業外費用」、「特別損失」に表示していた項目について、IFRSでは主に財務関連項目を「金融収益」又は「金融費用」として、それ以外の項目については、「その他の収益」又は「その他の費用」として表示してあります。
- ・日本基準において区分掲記していた「受取手形」、「売掛金」、「貸倒引当金」及び流動資産の「その他」に含めていた未収入金は、IFRSでは「営業債権及びその他の債権」として表示してあります。
- ・日本基準において「有形固定資産」として表示していた項目の一部について、IFRSでは「使用権資産」として表示してあります。
- ・日本基準において区分掲記していた「前受金」は、IFRSでは「契約負債」として表示してあります。
- ・日本基準において区分掲記していた「買掛金」、「未払金」は、IFRSでは「営業債務及びその他の債務」として表示してあります。
- ・日本基準において区分掲記していた「受注損失引当金」及び流動負債の「資産除去債務」は、IFRSでは流動負債の「引当金」として表示してあります。



## ⑦ 利益剰余金に対する調整

(単位:千円)

	移行日 (2018年10月1日)	前第3四半期連結会計期間 (2019年6月30日)	前連結会計年度 (2019年9月30日)
a のれん	△109,977	△71,549	△48,740
b リース	△400	△848	△952
c 有給休暇	△17,275	△17,275	△18,268
e 資本取引	1,715	1,715	1,715
f 無形資産	—	764	747
その他	9,450	11,184	7,806
合計	△116,487	△76,009	△57,691

## ⑧ 前第3四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年6月30日)及び前連結会計年度(自2018年10月1日至2019年9月30日)のキャッシュ・フローに対する調整

日本基準ではファイナンス・リース取引を除くリース料の支払いを、営業活動によるキャッシュ・フローに区分していましたが、IFRSではリース負債の返済として財務活動によるキャッシュ・フローに区分しております。